

### 1月17日(水) 岩根新一さんが第47回交通安全国民運動中央大会で交通栄誉章を受賞

交通安全国民運動中央大会（全日本交通安全協会・警察庁主催）が東京・日比谷公会堂であり、永年にわたる交通安全啓発活動の功績を称え、菊池地区交通安全協会旭志支部長の岩根新一さん（@ 岩本）が交通栄誉章として緑十字銀章を受賞されました。

岩根さんは、昭和63年4月に菊池地区交通安全協会旭志支部代議員に就任。平成6年4月から現在まで、菊池地区交通安全協会旭志支部長として、永年にわたり熱心に地域住民の交通安全思想の普及に努められています。

また、年3回行われる交通事故防止運動では、地域住民に交通ルールやマナーなどを率先して呼びかけられています。

その他にも、年間をとおして学童の登校時間帯の街頭指導や各種団体への交通安全教室など様々な交通安全活動に積極的に努められ、地域から交通事故や交通違反者を出さないよう日々努力されています。

今回の表彰は、このような交通安全啓発活動への貢献が顕著であると認められたものです。岩根さんは「今後も引き続き交通安全啓発活動に積極的に努めていきたい」と抱負を述べられました。



交通安全国民運動中央大会で交通栄誉章を受賞した岩根さん

### 1月26日(金)動く環境教室 ～ピンをリサイクルしたガラスの粒でお絵かきしたよ～

旭志の川辺保育園で同園の年長園児を対象に、動く環境教室がありました。これは熊本県環境センターと菊池管内の熊本県地球温暖化防止活動推進員の協力のもとに行われたものです。

参加した子どもたちは、ごみの分別・リサイクルの方法などをビデオを見ながら勉強した後、様々な色のピンをリサイクルして作ったガラスの粒を使って作画する「リ・グラスアート」の体験を楽しみました。

捨てればゴミ、分ければ資源となるペットボトルや紙・ピンの話に、子どもたちは興味深く聞き入っていました。



「リ・グラスアート」に挑戦する子どもたち

### 1月19日(金) 中山シキさんが平成18年心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会で入賞

今年10月に100歳を迎える中山シキさん（菊池市養護老人ホームこすもす荘）が、心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会で入賞し表彰されました。



心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会で入賞し、賞状を手にする中山さん

この大会は、社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会長寿社会推進センターが全国に募集したもので、要支援の高齢者の生きがいづくりや社会参加を進めることを目的として開催されました。

中山さんの作品は、「要介護・要支援高齢者の部」に応募があった3,913首の中から見事「佳作」に選ばれました。

中山さんは「肌寒い朝の一杯の味噌汁は、人の情を感じつつほっと和むものがあります。ホーム暮らしも、そろそろ100歳を迎える歳になるのだなあという今の気持ちを詠んでみました」と受賞を喜びながら作品の話がされました。

**受賞作品**  
朝寒の味噌汁旨し永らえてホーム暮らしに百歳迎う

### 1月27日(土) 東京泗水会総会・ふるさとの夕べ

東京泗水会総会・ふるさとの夕べが、旧泗水町出身者など約70人が参加して、東京都千代田区にある九段会館でありました。

同会は、旧泗水町出身などの東京近郊在住者を中心として平成3年1月に発足し、現在約290人の会員で構成されています。

会の活動としては、会員相互の親睦と交流を図ることで郷土愛を高めるとともに、情報交換などを行っています。

このような郷土会は、旧七城町・旧旭志村にもありますが、現在統一組織の設立を目指し、協議が行われています。



昔を思い出しながら歌う参加者



学生たちによる調査  
菓子店一軒一軒を訪れて行われました

県立大学生が菓子店を一軒一軒聞き取り調査  
現在、県内各地域では平成23年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業を見据え、その効果を最大限に発揮させようと様々な地域づくりが進められています。

菊池地域でも「食」をテーマにした取り組みが進められており、今回の調査もその一環として行われているものです。菊池には、「松風」や「ゆべし」といった他県にまで名が知れた伝統の銘菓をはじめとして、最近では菊池市の特産品「ヤーコン」を使ったものや、ろうそく「の灯り」で地上絵を描くイベント「一万華灯(まんげとう)」をモチーフにしたものなどたくさんのお菓子があります。

菊池のお菓子に大きな可能性を実感  
現地調査にあたり、この調査を卒業論文としてまとめている県立大学4年の加藤美穂さんは「論文では、菓子店が現在も多く残っていることを歴史的背景から整理しました。各店でお話を伺ったのですが、お菓子の味はもちろんなこと、お店の方の人柄など、外に向けて十分に誇れる宝がまだまだ眠っているように感じます」と菊池のお菓子に大きな可能性を感じている様子。

問い合わせ先 熊本県菊池地域振興局総務振興課地域振興班  
TEL (25) 41221 (直通)  
今後は、最終の調査結果が3月末までにまとめられます。また、並行してPRのためのガイドマップづくりなどが行われます。



熊本県立大学環境共生学部講師 西英子さん  
熊本県立大学4年 加藤美穂さん

## なぜ、隈府にはお菓子屋さんが多いの？

### 隈府の菓子店に着目した 調査が進められています

隈府には、チェーン店を除くと現在菓子店が15店舗あります。熊本県立大学では、県菊池地域振興局の委託を受け、なぜ隈府地区にこのように多くの菓子店が存在するのか、その歴史的背景をひもとくことで、観光客にアピールできる菊池の魅力づくりにつなげようと調査が進められています。今回は、その取り組みをご紹介します。



店主から説明を受ける学生たち

菓子包装の作業風景